

学指通信

生活・授業

行事

日常と非日常の 区別とつながり

～ 年間の流れの中で集団を作っていこう～



日常で集団の **土台** を作る



行事で集団の **節目** を作る

生場所
&
仲間の見方

一体感
&
達成感

学年の自覚
&
先輩モデル

クラスみんなで頑張れた！
仲間っていいなあ！
さすが先輩！



学活で集団の **価値観** に切り込む

「何がエライ？ 本当のカッコよさって？」

音楽・体育が

「クラスを見る窓」になっているのは・・・

文化発表会・体育大会において

① 日常から行事へ・行事から日常に

普段の音楽と体育の授業が学校全体の取り組みにつながっているから

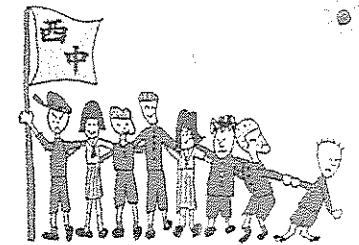
② 日常からリーダーを押し出す

授業で体育委員や文化委員のリーダー性を育て、学校行事につなげているから

若手・リーダーつながり研修資料 参照

9月、10月は感動の場面がたくさんあります。「合唱」をつくるまでの苦労やクラスが1つになって歌いきった時の感動を、子供達と共有できることは教師冥利に尽きるものです。

「生徒だけでやりさせた」「計画的、組織的にできた」etc. 自主運営の面で、手応えを感じた先生も少なくないと思いますが、ここで大切なことは「課題を持つ生徒にこだわる」という教師自身の意識や力量が最も問われるのも行事の時だということです。



KATA KUMI AERU NAKAMA GA IREBA... SHIWODU KOTO NO IERU NAKAMA GA IREBA...